

# 太田川ダム 試験湛水開始直前 最後の湖底ウォーキングを開催しました。

10月4日(土)に、森町体験の里「アクティ森」と静岡県太田川ダム建設事務所の共同開催により、ダム湖底散策最後のチャンスとなるダムウォーキング会が開催されました。

当日は、ダム湖水没地区となる片吹地区出身の方々をはじめ、地元の三倉地区、天方地区の方々、さらには一般参加者など、総勢約390名がウォーキング会に参加しました。

朝、10時頃ダムサイトを出発し、ダム湖周遊道路や、まもなく貯水が始まる将来の湖底など約3.5kmを歩き、片吹の郷で昼食をとりました。昼食には猪鍋がふるまわれ、参加者はおだやかな秋の1日を楽しみました。

なお、太田川ダムでは10月中旬よりダムの機能、安全性を確認するために、試験的に水を溜め始め、順調に満水まで水が貯まれば、来年4月より本格運用を開始する予定です。



